

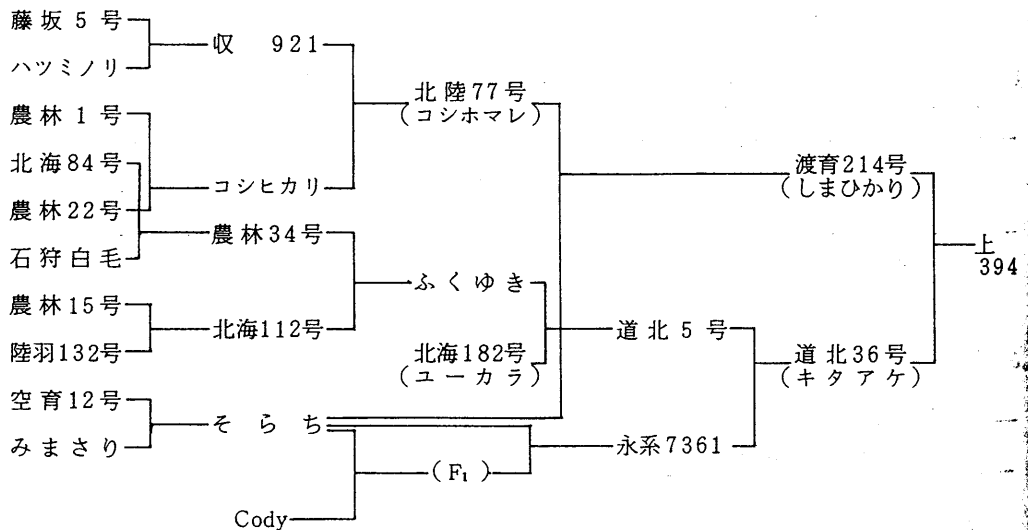
## 7. 上育394号

種苗登録第 1798 号  
 登録年月日 昭和63年12月13日  
 旧系統名 上育 394 号  
 育成場所 上川農業試験場

### 1. 来歴

「上育394号」は昭和55年、北海道立上川農業試験場で良食味品種「しまひかり」の耐冷性強化を目標に「渡育214号」(しまひかり) / 「道北36号」(キタアケ)の雑種第1代(F<sub>1</sub>)の蒔培養によって育成された。F<sub>1</sub>は昭和55年の冬期間温室で養成し、蒔培養に供試した。引きつづき得られたA<sub>1</sub>個体を夏期温室内で養成して選抜、採種を行った。昭和57年以降は「AC82209」として生産力検定試験とともに、特性検定試験を実施した。昭和59年からは「上育394号」の系統名で関係機関に配付し、翌年、奨励品種決定現地調査に編入し、地方適否を検討してきた。その結果有望と認められ、昭和62年に北海道の奨励品種に採用された。

### 系譜図



### 2. 特性の概要

稈長は「マツマエ」並かやや長く「巴まさり」より短い。穂長は「マツマエ」より短く、1穂着粒数は「マツマエ」並。穂数は「巴まさり」より少なく、「マツマエ」並である。出穂期前後の草状は、葉巾が「マツマエ」より広く、葉色は同程度かやや淡い。葉身は立ち、草姿は良い。無芒で稈先色は黄白である。割扱は「マツマエ」より少ない。

出穂期は「マツマエ」並かやや早い晩生の中に属する。成熟期は「マツマエ」とほぼ同じで、「巴まさり」より4～5日早い。障害型耐冷性は「マツマエ」級の“やや強”で、「巴まさり」に勝る。いもち病耐病性は葉いもちは“やや強～強”で「マツマエ」に勝り、穂いもちは「マツマエ」並で「巴まさり」よりいづれも強い。耐倒伏性は「マツマエ」より劣るが“やや強”に判定され、「巴まさり」より明らかに強い。玄米収量は「巴まさり」より高く、「マツマエ」並である。

梗種で、粒長は「マツマエ」よりやや短く、粒巾は「マツマエ」よりやや広い。千粒重は「巴まさり」より重く、「マツマエ」より軽い。玄米の色沢は淡く、光沢は良い。腹白は「巴まさり」よりやや少ないが「マツマエ」より多く、品質は「巴まさり」並である。搗精歩合は「マツマエ」並で、白米の白度は「マツマエ」「巴まさり」より高い。食味は、食味官能試験では、白さ・光沢・粘りなどにすぐれ、「巴まさり」を上回る。

### 3. 適地等

「上育394号」は「巴まさり」以上の食味を有する良食味品種であり、「マツマエ」並の熟期で耐倒伏性では「マツマエ」に劣るが、その他の栽培特性は「マツマエ」並である。収量的にも「マツマエ」並の高収が期待できる。従って道南南部地帯の「マツマエ」の一部にかえて「上育394号」を作付することによって当該地帯の良食味米生産を図る。

奨励品種採用：北海道（昭和62年～）

### 4. 栽培上の注意点

- (1) 出穂期は「マツマエ」並かやや早いですが、登熟が遅れる場合があるので、中苗以上の苗を用い植付け株数は25株/㎡以上とする。
- (2) 稈質と耐倒伏性が十分でないので多肥栽培は避ける。
- (3) いもち病耐病性は「マツマエ」並かやや強いが早期発見に努め適期防除を行う。
- (4) 障害型耐冷性は「マツマエ」並の「やや強」であるが穂孕期の低温の際は深水灌漑を行う。

### 5. 育成者氏名

佐々木多喜雄（交配～A<sub>4</sub>）、佐々木一男（A<sub>5</sub>～A<sub>6</sub>）、沼尾吉則（交配～A<sub>4</sub>）、新橋 登（交配～A<sub>2</sub>）、相川宗巖（交配～A<sub>6</sub>）、柳川忠男（交配～A<sub>6</sub>）

6. 試験成績

(1) 特性調査

品種名	出穂期	成熟期	草型	稈		芒		稈先色	玄米				
				細太	剛柔	多少	長短		稈糯	粒形	大小	光沢	品質
上育394号	晩中	晩中	偏穂数	ヤ太	中	無	一	黄白	稈	ヤ円	中	良	中上
(比)マツマエ	晩中	晩中	偏穂数	ヤ太	剛	稀	短	淡褐	稈	中	ヤ大	良	上下
(比)巴まさり	晩晩	晩晩	穂数	ヤ細	ヤ柔	稀	短	赤褐	稈	中	ヤ小	ヤ良	中上

(2) 生育・収量調査(育成地)

栽培条件	品種名	出穂期 月・日	成熟期 月・日	成熟期			不稈 %	割籾 %	倒伏 多少	玄米重 比率	玄米	
				稈長	穂長	穂数					千粒重	等級
成苗 標肥	上育394号	8.6	9.20	71	15.0	600	9.2	9.3	無	104	21.5	2中
	(比)マツマエ	8.6	9.20	68	16.6	584	13.4	16.0	無	100	22.8	2上
	(比)巴まさり	8.8	9.25	80	17.6	746	13.1	12.4	少	92	20.2	2下
成苗 多肥	上育394号	8.7	(9.14)	76	14.8	655	17.3	13.7	中	99	20.3	2下
	(比)マツマエ	8.8	(9.15)	74	16.4	643	17.0	25.4	ビ	100	21.8	2下
	(比)巴まさり	8.9	(9.19)	84	17.5	810	12.4	14.3	甚	75	19.3	3下

注 1) 試験年次: '84~'86

2) N量(Kg/10a): 標肥10、多肥15

3) 栽植密度: 20株/m<sup>2</sup>、3本/株

4) ( )は '84~'85

(3) 特性検定試験

品種名	障害型	遅延型	いもち耐病性		
			葉いもち	穂いもち	推定遺伝子型
上育394号	ヤ強	ヤ強	ヤ強~強	中~ヤ強	Pi-i, k
(比)マツマエ	ヤ強	中	中~ヤ強	中~ヤ強	Pi-k
(比)巴まさり	中~ヤ強	強	ヤ弱~中	中~ヤ強	-

(4) 食味試験(上川農試)

品種名	白さ	光沢	なめら	軟ら	粘り	味	総合 評価	試食 人数	備考
			かさ	かさ					
上育394号	-0.50	-0.50	-0.60	-0.25	-0.58	-0.33	-0.75	13	基準 巴まさり
(比)マツマエ	-0.07	-0.27	-0.75	-1.13	-1.03	-0.44	-1.10		上川, 道南農試
(比)しまひかり	-0.26	-0.32	-0.29	-0.17	-0.29	-0.06	-0.37	16	産米(6回平均)